

空を見上げるといわし雲が浮かび、気持ちのよいこの頃です。でも朝晩はだいぶ涼しくなり、お鍋やシチューが恋しい季節になりましたね。診察室前の壁にも、お鍋に入れたがっている野菜たちが勢ぞろい！子供たちはどんなお鍋を作ってくれるかな？



喘息症状が出たら早めに受診を

最近、昼と朝晩の気温差が大きく、喘息症状で受診されるお子さんが増えています。

喘息は、発作性に起こる気道狭窄によって、咳や喘鳴（気管支から出るゼーゼー・ヒューヒューという音）、呼吸困難を繰り返す病気です。苦しそうな咳が止まらない、ゼーゼーした音が胸から聞こえる、といった時は早めに受診してください。

喘息発作が起きた時には、気管支拡張作用のある吸入を行い、ロイコトリエン受容体拮抗薬といわれる抗アレルギー剤や気管支拡張薬を投与しています。それでだいぶ楽になることが多いのですが、おさまらない場合は、吸入を繰り返したり、ステロイド剤の投与を行ったりします。

「喘息って治らないんですか？」と時々質問されますが、そんなことはありません。2-3歳頃から発症することが多いのですが、多くの子は小学生になると発作回数が減ってきます。年に2-3回軽い喘鳴が出る程度の場合は、発作時のみ治療していますが、重い発作が起きたり、発作が頻回になったりした場合は、発作を起こしにくくするように継続的な治療が必要です。最近では炎症を抑えるためのステロイド吸入を行うことが多くなり、以前よりコントロールしやすくなっています。

食物アレルギー

食物アレルギーとは、食べ物に対して体を守るはずの免疫システムが過剰に働いて起きる、有害な症状のことをいいます。じんま疹やかゆみといった症状が一般的ですが、時に命に関わる重い症状が出ることもあり、油断はできません。

乳児期に多い原因食品は卵・牛乳・小麦ですが、その他、人によって何が原因になるかは食べてみないとわかりません。症状が強く出たお子さんには血液でアレルギー検査をしていますが、何もないお子さんに「離乳食を始める前に検査をする」というのはちょっと間違い。近年は、乳児期から少しずつ食べていた方がアレルギー症状が出にくいともいわれています。まずは、初めて食べる食品は少量から、じんましん等が出ないか確認しながらということいろいろチャレンジしてみましょ。卵などは加熱によってアレルゲンが低下します。半熟や生卵は避

けて、充分加熱したものから始めてください。症状が出た場合には個々に対応いたします。

ワクチンについて

・麻疹風疹(MR)ワクチンは供給が安定しなかったため、一時窓口のみの予約受付にしていたのですが、10月中旬からネットや自動応答電話での予約も再開しました。小学校入学前の年長さん、MR ワクチン2期は済みましたか？忘れずに接種を！

・今年度のインフルエンザワクチンの予約は受付を終了しました。(キャンセルが出た場合などネット予約で空きが表示された場合はご予約可能ですが)

感染症流行状況

例年ですと今頃RSウイルスが大流行しているのですが、今年は夏からずっと週に数人ずつというペースでそれほど増加はしていません。が、まだまだあぶない季節。これからご注意ください。

表には出していませんが、夏以降百日咳のお子さんが数人出ています(多くは小学生)。百日咳かどうかは、ひどい咳が2-3週間以上続いてから血液で抗体検査をしないとなかなか診断が付きません。咳が出ると止まらないで吐きそうになる等、強い咳が長引いている場合には受診してください。

感染症	人数(人)
溶連菌	11
アデノウイルス	2
RSウイルス	10
ロタウイルス	0
マイコプラズマ	9
インフルエンザA	2
インフルエンザB	0

(2018. 10. 1~10. 27)

今月の一冊

「大名行列」

作・シゲリ カツヒコ

お殿様を乗せて「したに一、したにっ！」の音が響く。お侍さんたちの行列…と思いきや、馬の巨大化？妖怪にマンモスまで次々におかしなことが起こる！奇想天外。いったいこの行列はどこに行く？眺めてみるだけでも、おもしろい不思議な絵本です。



(T.K.)

今月の予定

- 11月11日(日) 午前 JA とりで総合医療センター 救急外来担当
- 16日(金) 守谷市1歳6ヵ月児健診
- 27日(火) 16:30 で診療受付終了